

篠ノ井地区説明会 (1/20)

	質問 (要望)	回答
河川	災害復旧に対して行政の枠を外して、トータルに考えて対応してもらいたい。	国、県超えられないものがあるが協力連携しながら進めていく。
河川	塩崎の軻良根古神社周辺の復旧が進んでいない。早期に進めて欲しい。	700mに渡って越水があった。国に確認したところ、今年の出水期までには復旧を終えたいと回答。現状復旧に加え改良的なものも考えているようなので、詳細が決まったら皆様に説明する。
河川	篠ノ井地区の検証はできているのか。原因はどこにあったのか市民は知らない。	国、県、市で現在検証を行っている。検証結果が公表されればお知らせする。
河川	塩崎は、昭和16年に堤防が完成し、河川内に個人の土地や面割の土地、不法耕作者がいる。不法耕作者の土地を整理し河川を広げる整備をして欲しい。	-
河川	越水の対策は今年度中にできるのか。明確な対応をお願いしたい。	堤防については、国で出水期までには完了させたいと言っている。抜本的な対策は、国、県、関係市町村で緊急治水プロジェクトを立ち上げ、今後5年間かけて取り組む内容を検討している。検討結果は、今月末までにまとめる予定。
河川	越水した理由を明確にして欲しい。途中経過でも良いので区長会を通して教えて欲しい。	越水のメカニズムなど検証結果が国より提示されたら皆様方にお示しする。
河川	堤防の越水個所の低い部分に緊急対応としてアスファルトで復旧できないか。	緊急対応ができるかどうか国に確認し区長に回答する。
河川	千曲川の保水量1.5倍を確保して欲しい。川底の浚渫を行っていただきたい。	-
計画	検討委員は何人で構成されているのか。被災地だけでなく被災を免れた方の参加はないのか。	委員は、18名で構成されている。今回のような意見交換会にて被災者の直接的なご意見をお聞きし計画に反映していく。それ以外でも、被災者対象のアンケートや市民の皆様にはパブリックコメント等で広く意見を聞いていく。お示したものは、骨組みなので内容、文言含めて検討していく。委員は、被災地域代表が6名、防災減災関係が3名、農業関係3名、福祉関係3名、産業関係3名で構成されている。
公費解体	公費解体が進んでいるが、空き家で所有者にたどり着けない場所もある。計画に空き家対策も盛り込んで欲しい。	-
公民館	地域公民館が床上浸水した。できるだけ多くの支援をお願いしたい。	地域公民館の改修の場合現行では、3分の1、上限180万円の制度がある。制度拡大について現在検討中。

	質 問 (要 望)	回 答
支川	第一排水機場で13日ポンプが止まった。浸水で電気がショートしポンプが止まったと思われるが、この原因は検証したのか。浸水は、河川からの水なのか教えて欲しい。 現在、仮復旧済みで本復旧は出水期までには行くと聞いているが、どのような予定になっているのか教えて欲しい。	電気系統と燃料系が浸水してポンプが止まった。水槽から噴出している状況が写真で確認されている。ポンプの停止によって内水が吐ききれなくなったもの。排水機場は、0.8m水に浸かってしまった。仮設ポンプを設置しつつ12月中旬に修繕工事を発注しており、5月末までに本復旧を終わらせる予定。
支川	千曲川の越水はよく解るが、それ以外でなぜこのようになったのか説明して欲しい。岡田川は、当初水位が上がっていなかった。原因とその対策が大切なのでまずは原因を教えて欲しい。千曲川、岡田川、聖川の複合的な要因によって内水氾濫になったと考えるが、岡田川の排水ポンプの設置も早急にお願いしたい。聖川は水門がないため水が逆流する。ここにも排水機場の設置をお願いしたい。	-
支川	聖川について、浚渫工事や排水機場を作るとか様々な面に対応を検討していただきたい。	-
消防	消防団と自主防災会との繋がりは、日ごろから顔の見える関係を持つようにして欲しい。	消防団と自主防災会は、自主防災会の訓練やリーダー研修等で顔の見える関係を築くようお願いをしている。災害時にもこの顔の見える関係を活かせるよう、引き続き支援していく。
情報	防災無線で半鐘の音を入れる工夫をして欲しい。	検討する。
情報	希望する家に防災無線の個別受信機を販売または配布について、市の考えをお聞きしたい。消防からのお知らせも窓が締まっている状態だと聞こえない。	個別受信機は、区長など防災関係者に貸与している。避難情報は、Jアラートや市ホームページ、防災メール、消防車の広報等で伝えている。新たな取り組みとして、防災行政無線をアナログ形式から令和元年から令和2年にかけてデジタル形式に変更している。この中で、放送内容がスマホのアプリをダウンロードすることで音声と文字情報で確認できるようになる。
情報	アパートに居住している方で地域の地名に詳しくない方には、丁寧な避難指示、避難情報を提供して欲しい。	丁寧な情報発信に心がけていく。
情報	風雨で防災無線は聞こえないので、前線には出ず聞こえないことを前提にして対応した。また、市から提供される情報にリアルタイム性がなかった。 登録防災メールが一時間で300通届いた。どれが自分の地域のものなのか必要なメールが解らなかった。この反省を生かして、地域別のエリアメールが欲しい。情報の伝え方に工夫が欲しい。 サイレンが良く聞こえた。地域公民館ごとにサイレンの設置や活用方法等検討していただきたい。	-

	質問(要望)	回答
避難	今回、防災無線が聞こえなかった。長沼地区では、半鐘を聞いて避難した人がいたと聞いた。伝達手段の一つとして半鐘を活用するか、その音を利用してもよいのではないかと。	危機が迫った場合は、安全を確保したうえで半鐘を鳴らすようお願いしている。
避難所	避難所の開設を市民が行ってよいのか、市にお願いして鍵を開けるのか。どのタイミングで避難所を決めるのか教えて欲しい。篠ノ井西小が避難所になっていたが、開設されなかった。市にすべて開設を任すのは大変だと思う。	市では指定避難所を設定している。今回の場合、浸水の恐れのない指定避難所を市が鍵を開けて開設している。その他、地域公民館に一時的に避難する場合は、地域で鍵を開けていただき支所等に連絡をして欲しい。必要な物資をお届けする。
避難所	避難所の物資は一か所にまとめて保管していると、運搬に時間がかかるので分散して保管して欲しい。氷鉋小に避難するのは無理だったため、Uスタジアムに避難するよう呼びかけた。避難所の担当から、地域ごとにまとまるように指示があったが無理だった。現状に合わせマニュアルを見直して欲しい。各地域公民館に土嚢がなかったため今後は用意したい。	避難所の運営、備蓄等意見を参考にしながら今回の災害を検証する。土のうは、市で支援できるので対応させていただく。
避難所	避難に関して市から何の連絡もなかった。避難は、各自の判断となっているが区長としてどう決めたらよいか困っている。区長は前線にいるので電話以外連絡がつかない。	防災無線や報道機関を使って避難所開設のお知らせをしている。正確な情報をどのような方法で伝えるか検証していく。
避難所	避難所は込み合っていた。地域の人口に応じた避難所指定をおねがいしたい。	-
その他	地区単位でタイムラインを作成(指針になるもの)し、地域住民に落とし込んだものがあるとよい。3月中に示せるものがあれば示して欲しい。	マイタイムラインは、どの時点でどのような行動をとるべきかを示したもので、市としても普及を進めていく。
その他	岡田川に近い集落が30軒ある。引っ越しして25年。その間4回被災し2回床上浸水という家があった。このような状況で安心して住むことができるのか。原因と対策を示して欲しい。	-